

共用品推進機構だより 2018年06月01日(08)

目次

(22) 共用品推進機構関連記事

- ▽「目が見えない・見えにくい私だから考えついた『とっておきのアイデアコンテスト』第3回 応募開始(6/1~9/7)のお知らせ」
- ▽「ブログを更新しました」

(23) 各種催しとお知らせ

- ▽「『家電製品における操作性向上のための報知音に関するガイドライン 第二版[改定]』発行のお知らせ／家電製品協会」

(24) サービス関連記事

- ▽「バリアフリー対策拡充 空港や航空券予約で／ANA ホールディングス」
- ▽「生協、全国で自立支援 サービス均一に 自宅の生活を介助」

(25) 新刊紹介

- ▽『教育相談とカウンセリング 子どもの発達理解を基盤として』
- ▽『こころの発達によりそう教育相談』
- ▽『就学前期の語用能力の発達と語用障がい
自閉症スペクトラムの子どもの語用障がいをめぐって』
- ▽『発達障害のある子のケース別サポート事例事典』
- ▽『オリンピック・パラリンピックで知る世界の国と地域 1
オリンピック・パラリンピックの歴史』
- ▽『オリンピック・パラリンピックで知る世界の国と地域 2 アジア』
- ▽『オリンピック・パラリンピックで知る世界の国と地域 3 ヨーロッパ』
- ▽『オリンピック・パラリンピックで知る世界の国と地域 4 ヨーロッパ2
・オセアニア』
- ▽『オリンピック・パラリンピックで知る世界の国と地域 5 南北アメリカ』
- ▽『オリンピック・パラリンピックで知る世界の国と地域 6 アフリカ』

▽『勇気ある一步で世界が変わる！ 車いすバスケット香西宏昭』

(22) 共用品推進機構関連記事

▼「目が見えない・見えにくい私だから考えついた『とっておきのアイデアコンテスト』第3回 応募開始（6/1～9/7）のお知らせ」

現在、世の中にある製品の多くは、障害のない人たちが考え、作られています。そのため、障害のある人達にとっては、使いづらい「製品」が存在しています。できあがった製品を改良することは、多くの時間と費用がかかるため、改善されるケースはそれほど多くはありません。

それを解決する方法の一つとして、障害のある人たちによる「目が見えない・見えにくい私だから考えついた“とっておきのアイデア”コンテスト」を実施することにしました。新たな製品や今ある製品の改良について、障害のある人たち自らアイデアを考え、その考え方のポイントを企業等の人たちに知ってもらえば、今後世の中にでてくる製品が障害のある人たちに使いやすく変わっていくのではないかと考えたためです。

たくさんのご応募をお待ちしております。

(1) 募集テーマ

ジャンルは問いませんが、目が見えない・見えにくい私だから考えついた製品（モノ）に限ります。こんなモノがあれば、今不便なことが便利になる、もっとこんなことができるようになるといったアイデアを募集。

(2) 応募方法と期間

1.メール、郵送、FAX いずれかの方法

2.アイデア募集：6月1日～9月7日（9月7日締め切り（当日消印有効））

(3) 応募資格

- ・盲学校の部 盲学校に通う18歳までの児童・生徒。
（学級・学年のチーム、家族との応募も可。）
- ・一般の部 視覚に障害のある人や、一般校に通う視覚に障害のある児童・生徒など。

(4) 募集方法

盲学校の部は、全国盲学校長会を通じ募集します。

一般の部は、下記の媒体でもアイデアを募集します。

- 1.日本盲人会連合 メールマガジン
- 2.日本点字図書館 フェイスブック 他
- 3.点字毎日
- 4.その他

(5) 審査方法

福祉、デザイン、産業分野の専門家により、審査を行います。

(6) 結果発表、表彰

- 1.盲学校の部（最優秀賞・優秀賞・入賞）
- 2.一般の部（最優秀賞・優秀賞・入賞）

視覚障害者関連のイベントと連動し、関係するイベントで、表彰、展示を行います。入選者には10月5日までにご連絡します。表彰式は、2018年11月3日（土・祝）に、東京都墨田区で開催される「サイトワールド2018」で行う予定。

アイディア送付先

（送付とお問い合わせは、次のどちらの団体でも受け付けています。）

公益財団法人共用品推進機構

とっておきのアイディアコンテスト係

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-5-4 OGA ビル 2F

Tel:03-5280-0020 FAX:03-5280-2373

E-mail : jimukyoku@kyoyohin.org

社会福祉法人日本点字図書館

とっておきのアイディアコンテスト係

〒169-8586 東京都新宿区高田馬場 1-23-4

Tel:03-3209-0241（代） FAX:03-3204-5641

E-mail : nitten@nittento.or.jp

<案内チラシ (PDF)>

<http://www.kyoyohin.org/ja/exhibition/pdf/ideacontest2018.pdf>

<応募用紙 (別紙1) >

http://www.kyoyohin.org/ja/exhibition/pdf/2018_sheet1.pdf

<案内チラシ(txt)>

http://www.kyoyohin.org/ja/exhibition/pdf/2018_text.txt

<案内チラシ(BES)>

<http://www.kyoyohin.org/ja/exhibition/bes/ideacontest2018.BES>

▼「ブログを更新しました」

- ・早稲田大学の学生さんに講義
- ・ISO/TC 173/SC 7 会議 in ナイロビ
- ・ナイロビ国立公園
- ・ナイロビでの 5 日間

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

共用品推進機構公式 Facebook <https://www.facebook.com/kyoyohin/>

(23) 各種催しとお知らせ

▼「『家電製品における操作性向上のための報知音に関するガイドライン 第二版[改定]』発行のお知らせ／家電製品協会」

家電製品協会では、高齢者や障害者の方々にも使いやすい家電製品の提供に向けてユニバーサルデザインの視点から調査・研究を進めています。

平成 26 年度から、平成 13 年度に制定した「家電製品における操作性向上のための報知音に関するガイドライン」について、家電製品の進化に伴った課題に対応すべく、内容改定に向けて取組んできました。本ガイドラインはこれまで行ってきた報知音に関する調査研究結果を基に、家電製品において報知音機能を搭載する場合の基本的な考え方を示したものであります。

<ユニバーサルデザイン関連ガイドラインー家電製品協会>

<http://www.aeha.or.jp/project/ud/>

<家電製品における操作性向上のための報知音に関するガイドライン 第 2 版[改訂](2018 年 3 月発行) (PDF) >

http://www.aeha.or.jp/project/ud/pdf/ud_guideline_5.htm

(24) サービス関連記事

▼「バリアフリー対策拡充 空港や航空券予約で／ANA ホールディングス」

ANA ホールディングス（HD）は 25 日、航空券の予約や空港利用などでバリアフリー対策を拡充すると発表した。高齢者や目の不自由な人向けにウェブ画面情報の音声読み上げなど航空券の予約システムを改修するほか、空港での車いすの配備などを進める。2020 年の東京五輪・パラリンピックだけでなく将来の高齢化などを見据え対応を急ぐ。

ウェブサイトの利便性向上や予約システムの改修は 20 年 3 月までに実施する見通し。文字の拡大やウェブページの背景色の変更なども進め利用しやすくする。ANA マイレージクラブ会員のうち体の不自由な人の体の状態やどんなサポートが必要かといった情報を一元的に集約しサービス向上にもつなげる。

空港では金属探知機に反応せず保安検査がスムーズにできる樹脂製の車いすなどを順次導入しているほか、搭乗手続きカウンターやラウンジでは車いすの顧客が座ったまま手続きができる通常よりも机の高さが低いカウンターを順次展開する。搭乗ゲートの幅も拡大し車いすやベビーカーでもスムーズに通れるようにする。

（日経産業新聞 5 月 28 日 11 面より抜粋）

▼「生協、全国で自立支援 サービス均一に 自宅の生活を介助」

日本生活協同組合連合会（東京・渋谷）は介護が必要な高齢者でも自立して生活できるよう支援するサービスを全国の生協に導入する。排せつや入浴といった生活行為を介護職員が過度に補助する「おもてなし型」ではなく、利用者が自宅で日常生活を送るための介助をする。自立支援を基本方針として福祉事業の軸に据え、全国の生協のサービスを均一化する。

市民生活協同組合ならコープ（奈良市）が母体である社会福祉法人、協同福祉会（奈良県大和郡山市）の介護サービスを全国へ展開する。全国で福祉事業を展開している 56 生協のうち、28 の生協と関連団体で協同福祉会のサービスを順次導入していく。日生協は導入先の団体の介護職員向けの研修を奈良県と栃木県ですでに実施しており、年内には研修拠点を計 5 カ所に拡大する方針だ。

（日経MJ 6 月 1 日 9 面より抜粋）

(25) 新刊紹介

▼『教育相談とカウンセリング 子どもの発達理解を基盤として』

教員免許状取得における重要科目である「教育相談」のテキスト。カウンセリングに関する基礎的な知識や技法、発達期特有の問題行動とその対応、特別支援、アセスメントなど、さまざまな観点で教育相談を捉えて解説する。

編著：金子智栄子（かねこ・ちえこ）

著：大芦治（おおあし・おさむ）ほか

発行：樹村房

本体価格：1900 円（税別）

ISBN：978-4-88367-296-7

▼『こころの発達によりそう教育相談』

発達障害、精神疾患、問題行動、不登校…。教職課程で学ぶ学生や教育現場に関わる人、保護者に向けて、子どもの発達に関する基礎知識、カウンセリングの理論・技法、学校内外の関係者との協働について解説する。

編著：藤田主一（ふじた・しゅいち） 齋藤雅英（さいとう・まさひで）

発行：福村出版

本体価格：2300 円（税別）

ISBN：978-4-571-24067-6

▼『就学前期の語用能力の発達と語用障がい

自閉症スペクトラムの子どもの語用障がいをめぐって』

自閉症スペクトラムの子どもに見られる語用障がいの支援を考える上での基礎的研究の書。就学前の定型発達児の語用能力と認知・行動発達の量的データの集積を中心に、発達関連の観点から分析を行う。

著：中路曜子（なかじ・ようこ）

発行：風間書房

本体価格：6500 円（税別）

ISBN：978-4-7599-2221-9

▼『発達障害のある子のケース別サポート事例事典』

発達障害のある子が、学校生活のなかで抱えている困難の背景や原因、対応法を、「授業」「対人関係」「学習面」等の場面ごとに紹介。周囲の子どもへの対応や、保護者との連携などについても、ていねいに解説します。

著：月森久江（つきもり・ひさえ）

監修：上野一彦（うえの・かずひこ）

発行：ナツメ社

本体価格：2500 円（税別）

ISBN：978-4-8163-6438-9

▼『オリンピック・パラリンピックで知る世界の国と地域 1

オリンピック・パラリンピックの歴史』

オリンピック・パラリンピック教育に役立つシリーズ。1 は、1896 年から 2022 年までのすべてのオリンピック・パラリンピックの夏季・冬季大会を紹介する・用語解説つき・見返しに表あり。

監修：日本オリンピック・アカデミー

発行：小峰書店

本体価格：3000 円（税別）

ISBN：978-4-338-31501-2

▼『オリンピック・パラリンピックで知る世界の国と地域 2 アジア』

オリンピック・パラリンピック教育に役立つシリーズ。2 は、日本をはじめ、アジアの国と地域のこれまでの大会の成績、活躍した競技や選手、人気スポーツなどを紹介する。用語解説つき。見返しに表あり。

監修：日本オリンピック・アカデミー

発行：小峰書店

本体価格：3000 円（税別）

ISBN：978-4-338-31502-9

▼『オリンピック・パラリンピックで知る世界の国と地域 3 ヨーロッパ』

オリンピック・パラリンピック教育に役立つシリーズ。3 は、イギリスをはじめ、ヨーロッパの国と地域のこれまでの大会の成績、活躍した競技や選手、人気スポーツなどを紹介する。用語解説つき。見返しに表あり。

監修：日本オリンピック・アカデミー

発行：小峰書店

本体価格：3000 円（税別）

ISBN：978-4-338-31503-6

▼『オリンピック・パラリンピックで知る世界の国と地域 4 ヨーロッパ2
・オセアニア』

オリンピック・パラリンピック教育に役立つシリーズ。4 は、ロシア、トンガなど、ヨーロッパ・オセアニアの国と地域のこれまでの大会の成績、活躍した競技や選手、人気スポーツなどを紹介する。用語解説つき。見返しに表あり。

監修：日本オリンピック・アカデミー

発行：小峰書店

本体価格：3000 円（税別）

ISBN：978-4-338-31504-3

▼『オリンピック・パラリンピックで知る世界の国と地域 5 南北アメリカ』

オリンピック・パラリンピック教育に役立つシリーズ。5 は、カナダブラジルなど、南北アメリカの国と地域のこれまでの大会の成績、活躍した競技や選手、人気スポーツなどを紹介する。用語解説つき。見返しに表あり。

監修：日本オリンピック・アカデミー

発行：小峰書店

本体価格：3.000 円（税別）

ISBN：978-4-338-31505-0

▼『オリンピック・パラリンピックで知る世界の国と地域 6 アフリカ』

オリンピック・パラリンピック教育に役立つシリーズ。6 は、エジプト、ケニアなど、アフリカの国と地域のこれまでの大会の成績、活躍した競技や選手、人気スポーツなどを紹介する。用語解説つき。見返しに表あり。

監修：日本オリンピック・アカデミー

発行：小峰書店

本体価格：3000 円（税別）

ISBN：978-4-338-31506-7

▼『勇気ある一歩で世界が変わる！ 車いすバスケット香西宏昭』

プロ車いすバスケットボールプレイヤーとして、全米大学リーグで2年連続シーズン MVP を獲得した香西宏昭。2020年の東京パラリンピックに向かって挑戦し続ける彼の生き方を描く。車いすバスケットの解説も収録。

文：光丘真理（みつおか・まり）

発行：新日本出版社

本体価格：1600円（税別）

ISBN：978-4-406-06232-9

（編集後記）

- ・国、地域、人種、性別、障害の有無など、目に見えるボーダーと共に目に見えないボーダーが多く存在する。
- ・1953年、戦後のドイツで「子ども達に食料だけでなく心の栄養を」と、ユダヤ人女性レップマンの呼びかけで各国から絵本が集まった。集まった絵本で展示会が開催され、国際児童図書評議会（IBBY）が設立された。同評議会は1981年の国際障害者年には「障害児と本」というタイトルでの、展示会に発展した。
- ・日本では1974年に支部が設立され、2003年から2年おきにIBBYで選出されるバリアフリー図書の展示会を日本各地でおこなってきている。
- ・「世界のバリアフリー児童図書展」は、この6月から日本全国15箇所で開催される。レップマンが構想した「絵本や図書でボーダーを知り、考え、実行」は、継続し広がっている。（星川安之）

<JBBY・社団法人 日本国際児童図書評議会>

<http://www.jbby.org/>

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>

共用品推進機構公式 Facebook <https://www.facebook.com/kyoyohin/>